

議員 学校施設は災害時の

避難所として重要な役割を担うことが求められている。

学校施設の防災機能の整備状況・実態についてたずねる。

市長 トイレは、野外または体育館内で備えている。

備蓄倉庫・通信設備・自家用発電設備の3項目は、学校並びに敷地内には整備していない。貯水槽設備は6校に整備している。学校施設の耐震化については、平成24年度で耐震診断が完了するので、診断結果により計画の見直しを行う予定である。

豊かなこころを育む 学校教育について

議員 豊かなこころを育む学校教育は、大変重要な視点である。しかし、いじめ問題は学校現場からなくならない。子どもの心を傷つけ、ときに自殺まで追い込むいじめは陰湿である。

学校の取り組み・対応策をたずねる。

教育長 学校では、アンケートをもとにした教育相談を実施しており、いじめの早期発見・早期対応を目指している。さらに、あらゆる場面を通して子どもが見えるよう努めている。

いじめが発見された場合は、迅速な対応を行っている。さらに、必要に応じてカウンセラーを派遣したりするなど、関係機関と連携して心のケアに当たることとしている。

市立図書館・学校図書館の活性化と読書運動



市立図書館

議員 良書は、その人の血

となり肉となつて終生忘れることはない。人生の節目に直面したときに、光輝く貴重な財産となる。読書の大切さは計り知れない。

単に本を置いてある部屋、図書室から、児童・生徒の健全な教養の育成の場である学校図書館への展開をたずねる。

教育長 学校図書館は学校教育に欠くことのできないものであり、教育課程の展開に寄与する学習情報センターの機能とともに読書活動や読書指導の場として、さらには、想像力を培い、学習に対する興味・関心を呼び起こし、豊かな心を育む読書センターとしての機能を果たすことができるよう努めていきたい。

ほかに★超高齢・人口減少社会の自治体経営★支えあう地域社会づくり★来年度予算案について質問しました。

の更なる推進について

日本共産党

質問者 原田毅
所属議員 樋之津倫子

市民の命と健康を守る 施策について

議員 ①国民健康保険の資格証の発行割合は、県下各市との比較でも、本市が突出して多いのが実態ではないか。なぜ、このような状況になっているのか。資格証の発行をゼロにしていく対策をどのように考えているのか。

②国保税は、市民の負担能力を超えて高くて払えない。基金を活用して、1世帯年平均で2万円の引き下げを実現するよう求める。

市長 ①本市は、滞納者の状況把握をしっかりと行い、面会をする中で短期保険証

を交付すべき人には交付し、できるだけ多くの皆さんにお会いして状況把握をしている結果であろうと思っている。しかし、資格証の交付については、今後、他市の状況も参考にしながら、順次、短期証に切り替えていくように考えている。

②平成23年度末の基金残額は、4億6,695万円余りとなる見込みである。さらに、平成24年度では3億3,000万円を取り崩すこととしており、大変厳しい状況である。経営努力はもちろんだが、基金の状況も踏まえながら、中・長期的な視野に立った運営を進めていかなければならないと考えている。

したがって、1世帯年額2万円の引き下げについては、極めて困難な状況であると言わざるを得ない。

水道事業について

議員 水道料の問題は、市民の暮らしはもとより、商